

△産業宣教 永遠の暗やみ経済(創 11:1-8)	△レムナント伝道学 レムナントの最も至急なこと (Ⅱコリ 10:4-5)	△核心 モーセが見た答えの永遠(申 6:4-9)	△散らされた弟子たち 永遠のことは選択した散らされた弟子たち(使 11:19)
<p>Calm, Deep, Peace <u>7・7・7</u> 朝静かに、深く、安らかに 7・7・7 を祈りながら呼吸してこそ、健康、脳、霊、みな生かされる。私たちは「永遠の暗闇経済」と戦わなければならない。</p> <p>□序論_なぜか</p> <p>1. 未来 1) 宇宙産業時代 2) AI、メタバース時代 3) offline(-on) 金融時代が来る。</p> <p>2. 2030~2080 に走る主役 このときを準備しなさい。一番重要なことは 1) どんなコンテンツ 2) コンセプト 3) システムを準備すべきかというところが鍵(key)だ。7・7・7 を続けて祈れば答えが出てくる</p> <p>3. どんな問題が来るのか 1) 暗闇経済が経済主導、生き残ってこそ勝つ。 2) 一番最初に来るのが格差だ。お金を持っているこれ(序論 1)ができる人はお金を導く。 3) 今は違った霊的問題が来る。</p> <p>□本論_いくつかの参考</p> <p>1. 暗闇経済は永遠に 1) 創 3:1-20 三つ (1) 暗闇経済、(2) 利己主義経済 (3) 苦難経済が続く。 2) 創 6:1-20 (1) ネフィリム経済、(2) 悪い経済 (3) わざわい経済となる。 3) 創 11:1-8 永遠にあるバベルの塔運動 (1) 人々どうし集まるバベルの塔経済 (2) 集団利益を成し遂げる集団経済 (3) 滅亡経済となる。</p> <p>2. 3 つの経済時代を開くべき 1) 創 3:15 -光の経済を開くべき。これが私たちの使命 (1) 御座の上から与えられる力が (2) 私に権威として臨むこと (3) 私のことになるとき、権能(力)だ。 2) 創 6:1-20 -癒やし経済、ノアの箱舟時代 (1) 24 神様と同行 (2) 25 箱舟を作る (3) 永遠は救われた者と救い 3) 創 12:1-3 -宣教経済が与えられる (1) 新しい契約を初めから。契約的祝福、根源的祝福、代表的祝福、記念碑的祝福、不可抗力的祝福を与えられた。 (2) それでこそ、カルデアと (3) 世界を生かすことができる。</p> <p>3. 3 つの作品を作るべき 1) 金土日時代を本格的に、正しくすべき 2) 3 つの庭時代を作品に作ること 3) レムナントの専門性を持たせることが OURS だ。</p> <p>□結論</p> <p>1. 朝の祈りは私のすべてを生かすこと 2. 昼の祈りはすべての現場に神様の奥義を見つけ出すこと 3. 夜の祈りは契約を整理して握ることだ。 レムナントはこの契約を握って祈り始めなさい。</p>	<p>□序論 レムナントの最も至急なことだ。レムナントの中に作られた<u>やぐら</u>は、すべてを左右する</p> <p>□本論</p> <p>1. 朝にはイエス様が教えられたこれを祈りなさい。 1) 7 やぐら 2) 7 旅程 3) 7 道しるべ △初めには何でもないように見られるが、ものすごいことになる。簡単に話せば、朝、神様のやぐらを建てなさい。</p> <p>2. <u>24</u>-昼にはおもに仕事をしたり学業をする。このときは、霊的なサミット祈りをしなさい。一つの判断がものすごいことを左右する。いつも選択しなければならないので、霊的サミットのすることを選択しなさい。</p> <p>3. 夜(作品) 1) プラットフォーム-時間が経つほどプラットフォームが作られる。 2) 見張り台-やぐらを建てて光があれば人々はその光を見て来る見張り台となる。 3) アンテナ-神様と疎通できれば、人と疎通できて、万物と疎通できる。それをアンテナと言う。</p> <p>□結論 朝、目を開けば脳とからだを生かす祈りをみことばを握って呼吸してしなさい。後には、正しく呼吸するシステムが作られる。すると、続いてこの力が生じる。 Tacit Knowledge -霊的な力は目に見えないために、完全に目に見えない知識だ。 Tacit Power -目に見えない力がある。 △神様の契約を握って行くところに競争者もない。戦いに来たのに戦いにならない。それがレムナントが持つべき余裕で、祝福だ。私たちに起こるすべての問題は未来を準備させることだ。私たちの誤ったことも、神様が悟らせて、より良いことを準備される。</p>	<p>□序論_理由=福音を悟れなかったユダヤ人</p> <p>1. 原罪を分らないこと 2. みことばの中にある道(創 3:15、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16)を逃した 3. サタンの戦略に無知 1) 落とし穴(創 3、6、11 章)、梓(偶像になった神殿)、罌(サタンの 6 つの運命)にかかる 2) ただ福音 x 3) 律法争い</p> <p>4. 結果-奴隷、戦争、捕虜、属国、流浪の民 福音を与えたと、他のことを握る。原罪は神様を離れたことだ。アダム以降の人間は全部、神様を離れた状態だ。</p> <p>5. 残ったのはわざわざ △皆さん 1 人が契約を握れば、神様が働かれるようになっている。皆さんの信仰と献身が必要なのであって、力が必要なのではない。皆さんの力では世界福音化できない。</p> <p>□本論_ヨケベデ(神様の動きを信じる者)</p> <p>1. 出 2:1-10 1) レビの男がレビの女と結婚 2) 息子を王宮に送る決断 3) 永遠の嗣業、作品、遺産を植えた</p> <p>2. 出 3:1-20 モーセに伝えられた契約 1) イスラエル民族がどうなるかを見た。 2) 炎の中に現れた神様 3) 出 3:18 血のいけにえをささげると話せ。</p> <p>3. 申 6:4-9 次世代に伝達 1) 出 5:1-12:46 血を塗る日解放、14:1-13 紅海、三つの祭り、契約の箱、幕屋を刻印させなさい。 2) 民 14:1-10 神様は正確な契約を握ったところに働かれる。 3) ヨシ 1:1-9 約束の地に行きなさい(ともに)、3:1-13 ヨルダン、6:1-20 エリコ、10:10-14 空前絶後、14:6-15 アナク山地(カレブ)</p> <p>□結論_<u>未来</u>が何かわかる者、<u>JX</u>が完成</p> <p>1. カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋-カルバリの丘で創 3:15、出 3:18 成就、御座の背景であるオリブ山、力がなくても大丈夫だ。マルコの屋上の部屋の体験</p> <p>2. 神様が与えられたことを握りなさい。 1) やぐら 2) 旅程 3) 道しるべ(その時その時成就するみことば)</p> <p>3. 創 3、6、11(自分だけしか知らない後遺症)、使 13、16、19(偶像文化)、6 つの運命(癒やし)</p> <p>△ロマ 3:10 に義人はいない。神様を離れているので。それゆえ、ロマ 5:8 私たちがまだ罪人であったときに、キリストが死なれることによって神様の愛を確認された。</p> <p><u>三つの生命線</u>を握って 7・7・7 祈りを始めなさい。確実な証拠が来る(神の国)。時代を変える事が起こる(永遠の作品、遺産)。それを持つことになったのが永遠の嗣業。</p>	<p>□序論 なぜ聖書には強大国に奴隷として送ったのか。</p> <p>1. 奴隷-流浪の民として 2. 幕屋を移動した-理由 3. ヘロデ神殿なくして回復させられない理由-世界教会を建てて送られた理由</p> <p>□本論_ 237、5000 - TCK に伝達できる答えを持つべき</p> <p>1. カルバリの丘で完成された。「完了した」「これからは、いつもともにいるから、あらゆる国の人々に行きなさい」「万民に行きなさい」「行ってわたしの名で祈りなさい。病んでいる者は癒やされる」</p> <p>2. オリブ山に集まって背景を話された。</p> <p>3. マルコの屋上の部屋は、一言で味わい、体験 これによって、皆さんが動いて入るのだ。</p> <p>□結論_使命とても大きい。これから</p> <p>1. 宗教的殺人 2. 思想的殺人が起こる。 3. 経済的戦争をする。 それゆえ、皆さんが本当に 7 やぐら、旅程、道しるべをしなければならない。それゆえ、散らされた弟子の皆さんの使命が他の人とは異なる。時代を置いて祈るべきだ。</p>

△区域メッセージ第3週 金土日時代の核心と永遠の答え(創 1:1-3)	△聖日1部 世の中が最も嫌がること(使 4:1-12)	△聖日2部/レムナントサミット委員会献身礼拝 サミットの条件(使 4:32-37)					
<table border="1" data-bbox="309 212 604 347"> <tr><td>人材、RT、専門性</td></tr> <tr><td>力</td></tr> <tr><td>脳-無限大(3%)</td></tr> <tr><td>たましい-永遠 <b>黙想</b></td></tr> <tr><td>からだ-限界</td></tr> </table> <p>さまざまな教会が力を合わせて多くの人材を土曜日に来るようにして、私たちのレムナントが専門性を持つようにさせれば良い。レムナントが力を得なければならぬ。脳は無限大に発展させることができるために、礼拝する中で深く祈る必要がある。私たちが一生、脳の3%しか活用できない。私たちのたましいは無限大だが、からだは限界があるので、バランスをとるようにすることが黙想だ。黙想は無限大に脳とたましいを生かすことだ。</p> <p>□序論 RT、新しい家族</p> <p>1. 3 団体はすべての所に会堂があって、ロッジで専門家が集まる。あなたが神のようになることができるというニューエイジ運動、あなたの中に別の世界を見て憑依させるフリーメイソン、定刻で祈るユダヤ人とムスリムが世界 1/3 を掌握した。</p> <p>2. 仏教でテンプルステイを作って学生たちを呼び入れて、結局は、他の何かを受けるようにさせる。</p> <p>3. 教会がじっとしているから、宗教団体と本当の異端が起きる。間違っていると思いつつも、そこから抜け出せない。人々がなぜそちらに行くのかを分かなければならぬ。</p> <p>△牧会者は、レムナントと新しい家族に焦点を置いて、福音を悟って力を得るようにすべきだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 先にすること</p> <p>1) II コリ 10:4-5 私の中に古くから長い間ある、このやぐらを先に打ち倒さなければならぬ。</p> <p>2) キリストが暗闇に勝ったので、打ち倒されるのだ。</p> <p>3) キリストが直接作られたやぐら、旅程、日程表を分けるようにさせなさい</p> <p>2. 神様の絶対計画が見える。レムナント 7 人は<b>空前絶後</b>の答えを受けた。レムナントがどこに行っても生き残るのだ。</p> <p>3. 絶対ミッション</p> <p>1) 力があるから、事実上レムナント 7 人が競争したことは一度もない</p> <p>2) レムナント 7 人は、戦わずに勝ってしまった。答えがあらかじめ来れば、戦う必要はない。</p> <p>3) 学業が 237、5000 種族になる。</p> <p>□結論_背景</p> <p>1. カルバリの丘ですべての呪い、苦しみを終わらせてしまった。</p> <p>2. オリーブ山-御座の祝福が背景だ。</p> <p>3. 世界を生かすマルコの屋上の部屋で神様が与えられる大きな<b>力</b>を所有</p> <p>△祈り内容、すなわち 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべを見つけ出して味わうようにさせ、正しい呼吸をするようにすれば良い。私のからだに合う食べ物食べて、バランスを維持できる運動をなささい。最後に「環境」を覚える必要がある。</p>	人材、RT、専門性	力	脳-無限大(3%)	たましい-永遠 <b>黙想</b>	からだ-限界	<p>□序論_聖書の約束の中で、最も貴重だが、教会が最も知らず、世の中が最も嫌がること</p> <p>1. 多くの人を殺してキリスト教を迫害した戦争国家、しかし、全世界に宣べ伝えられた福音</p> <p>1) 戦争、キリスト教迫害、多くの人を殺した国 2) 強大国とローマ</p> <p>3) 戦争国家-ヨーロッパ、ロシア、カンボジア 4) 教会まで占領</p> <p>2. 聖書にだけ明らかにしているその理由</p> <p>1) II コリ 11:14 光の御使い(12 戦略) 2) エペ 6:12 答え-サタンとの戦い</p> <p>3) エペ 6:12 理由-支配、力、天にいる悪霊を動かすサタン</p> <p>4) ヨハ 8:44 偽りの父</p> <p>5) 律法主義、神秘主義、人間中心主義-福音をなくすようにさせる</p> <p>3. サタン、わざわいの勢力、地獄の権威は、ただイエス キリストの御名だけ恐れる。</p> <p>1) 創 3:15 2) I ヨハ 3:8 3) 出 3:18 4) II コリ 10:4-5 5) 使 4:12</p> <p>4. 権威祈りをしなさい。</p> <p>1) マコ 3:13-15 あなたがたを呼んだ理由-ともに、伝道、権威</p> <p>2) ルカ 10:19 敵の力を制御 3) ヨハ 14:14 わたしの名で求めなさい</p> <p>4) ヘブ 13:8 永遠に同じイエス キリスト 5) ピリ 3:21 万物を服従</p> <p>□本論_イエス キリストの御名</p> <p>1. イエス キリストの御名で運命を変えることができる。</p> <p>1) マタ 16:16-20</p> <p>2) イエス キリストの御名でカルバリの丘(すべての解決)、オリーブ山(御座の力)、マルコの屋上の部屋(聖霊の働きとともに)</p> <p>3) 神の子どもとされる特権(ヨハ 1:12)-上から与えられる権威を使用(ルカ 10:19)</p> <p>2. イエス キリストの御名で祈れば根本的な癒やしが起こる(使 3:6)</p> <p>1) 小アジア-精神病者(使 13 章) 2) 悪霊につかれた者(使 16 章)</p> <p>3) ティラノ-病人だ者(使 19 章)</p> <p>3. イエス キリストの御名で祈り-次世代を生かして世の中を変化</p> <p>1) イエス様の約束</p> <p>(1) マタ 28:18-20 御座の力、天と地の権威</p> <p>(2) マコ 16:15-20 病人だ者の癒やし、悪霊を追い出ささい。</p> <p>2) 会堂を訪ねて行って次世代を生かす(使 17:1、18:4、19:8)</p> <p>3) 世の中を生かすこと(使 19:21、23:11、27:24)</p> <p>□結論</p> <p>1. 三つの祈り</p> <p>1) 朝 やぐら、旅程、道しるべで私を生かして(ピリ 3:21)</p> <p>2) 昼 現場を生かして</p> <p>3) 夜 職業を生かす深い祈り</p> <p>2. どんな問題があるのか。最後までイエス キリストの御名で祈り</p> <p>1) クロスビー 2) アン サリバン</p> <p>3. ナザレのイエス キリストの御名で今日挑戦</p> <p>1) キリストの御名 2) 神様にする祈りと権威祈り</p>	<p>レムナント運動は常に大きなわざわい、危機を控えて神様が立てられることだ。レムナントは世の中を生かす力を持って出て行くべきだ。それが「サミットの条件」だ。神様がともにおられる力を持っているとこのようになる。</p> <p>1. 奴隷として行ったが答えを受けたから、王が総理にさせたヨセフ(世界福音化)</p> <p>2. 養子に入って世界指導者になったモーセ</p> <p>3. 孤児のようだったがミツバ運動をしたサムエル(戦争 X)</p> <p>4. 羊飼いであったのに王になって 1 千やぐらを建てて神殿準備したダビデ</p> <p>5. 農夫だったがドタンの町運動したエリシャ</p> <p>6. 捕虜として行ったが王の指導者になったレムナント</p> <p>7. 会堂にいたレムナントが世界福音化した。</p> <p>□序論_どんな力を持って伝えたのか</p> <p>1. 永遠の嗣業(7 やぐら) -<b>プラットフォーム</b>になれば人々が来るようになる。</p> <p>2. 永遠の作品(7 旅程) -光が現れる<b>見張り台</b></p> <p>3. 永遠の遺産(7 道しるべ) -世界と神様が通じる<b>アンテナ</b></p> <p>□本論_受ける答え(祝福) -バルナバが受けた答え(祝福)</p> <p>1. 光の経済</p> <p>1) 使 2:9-11 15 か国が集まる所にいたバルナバ</p> <p>2) 使 2:43-45 恵みを受けて献金始まり</p> <p>3) 使 4:32-40 世界を生かす光の経済</p> <p>△AD70-1948 イスラエル滅亡の時に福音運動しなければならないレムナントに対する献金をした</p> <p>2. 三つの庭を準備したバルナバ</p> <p>1) 使 11:19 迫害の中で建てられたアンティオキア教会</p> <p>2) 使 11:25-26 パウロを呼んでともに働きをしたバルナバ</p> <p>3) 使 13:1-4 二人がともに宣教師として三つの庭に派遣</p> <p>3. 世界のやぐらに用いられた人</p> <p>1) 使 9:26-27 パウロを訪ねて行った。</p> <p>2) 使 11:25-26 タルソまで訪ねて行ってパウロを連れてきた。</p> <p>3) 使 13:2-14 パウロとともに初めての宣教地に参加した。</p> <p>4) 使 15:1-12 パウロに対する非難があふれたとき、エルサレム公会議で違うと説明した。</p> <p>5) 使 15:30 福音をよく悟れなかった教会に違うと説明した。</p> <p>□結論_職業、学業、産業 <b>三つの庭</b>を建てなさい。</p> <p>1. 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 聖霊の導きを完全に受ける祈り、門が閉ざされたとき、さらに大きな祝福がある。マルコの屋上の部屋に起こった力そのまま現れた。この力を先に持って伝道、勉強、事業をすれば良い。答えから先に受けて異邦人の庭を生かす</p> <p>2. 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 悪霊につかれた者、病人だ者を生かした癒やしの庭</p> <p>3. 使 17:1、18:4、19:8 会堂、子どもたちの庭</p> <p>△これを握って 24 すれば、周囲に神の国が臨むようになる(25)。世界を生かす産業になる(永遠の作品)</p>
人材、RT、専門性							
力							
脳-無限大(3%)							
たましい-永遠 <b>黙想</b>							
からだ-限界							